

【三石地域】

地域マリビジョン目標の達成に向けた取り組み

●水産学習の推進・食育の推進

(1) 水産業を核とした地域活性化の取り組み(地域の目指すべき姿)(Plan)		関連資料	
地域MVにおける取組の位置付け	高齢化・担い手確保の抜本的対策 地産地消の推進・漁業文化の継承	取組場所	【取組の様子】  こうせい小学校5年生
現状における取組実施の背景	ひだか漁業協同組合三石青年部からの要望を受け、平成19年度より本事業を実施しており、日高地区水産技術普及指導所静内支所などの協力を得て実施。 令和3年度より、ひだか漁業協同組合三石青年部の休止を受け、三石昆布組合の有志により活動を継続中。		 こうせい小学校6年生
取組により期待する効果	後継者対策、魚食普及		 三石中学校2年生
(2) 取組内容・実施体制(Do)			
取組内容、方法、手順、実施体制	実施体制:ひだか漁業協同組合三石昆布組合、ひだか漁業協同組合三石支所、日高地区水産技術普及指導所静内支所、三石地域MV協議会(町水産G) ①こうせい小学校 学校側の要望で、5年生と6年生を対象に、学年ごとに全体の座学と漁具・昆布を持ち込んだ説明行い漁業への理解増進を図った。(令和3年11月1日開催:5年生99名、令和3年11月8日開催:6年生82名) ②三石中学校 今年度新規学校側から要望があり、当初料理教室を希望されたが、感染症対策が行えないことから取りやめとし、三石漁港の施設見学、座学、生徒を2班に分けて持ち込んだ昆布・漁具の説明を行い漁業への理解増進を図った。(令和3年11月15日開催:2年生30名) ③三石小学校 学校側と協議を行い、例年実施している料理教室の感染症対策が行えないことから取りやめとし、講師となる昆布区組合と内容について協議を行い、全体の座学と生徒を2班に分けて持ち込んだ漁具・鮮魚の説明を行い漁業への理解増進を図った。(令和3年11月22日開催:5年生26名)		 三石中学校2年生  三石小学校5年生
(3) 効果項目に対する評価(Check)			
効果目標の達成度評価	即効性の高い事業ではないことから、達成度は不明であるが、三石小学校の感想では将来漁師になりたいなどの記載があることから、一定程度の効果はあると思われる。		
反省点	・当初5校での開催を予定していたが、3校4回の実施となった。 ・昨年の反省点として掲載した、「感染症対策を踏まえた料理教室」については、当初屋外での実施や体育館での実施など学校側と協議したが、火気が使えないなどの条件もあり実施いたらなかった。		
(4) 取組の改善措置(Action)			
取組内容の改善点	・高校での出前授業が今後実施しないことから、学校を指定せずに要望があった場合に対応する計画とする。 ・学校側からの要望に対応できる料理教室で調理可能なメニューの開発。		
取組の実施に必要なもの			

【三石地域】

●漁港めし（ご当地グルメ）の提供に向けた活動

(1) 水産業を核とした地域活性化の取り組み(地域の目指すべき姿)(Plan)		関連資料
地域MVにおける取組の位置付け	地産地消の推進・漁業文化の継承	取組場所 【取組の様子】
現状における取組実施の背景	令和3年度より、新たなご当地グルメを開発することで、新ひだか町内で水揚げされる安心安全な地元の水産物のPR・地産地消の推進を図ることを目的に事業を実施。	
取組により期待する効果	地産地消の推進、魚食普及、交流人口の増加	
(2) 取組内容・実施体制(Do)		
取組内容、方法、手順、実施体制	<p>実施体制：新ひだか町三石地区飲食店、ひだか漁業協同組合三石支所、三石地域MV協議会(町水産G)</p> <p>取組内容：三石おさかなマップ掲載店や新ひだか町三石地区内で定食を提供している飲食店全店舗へ個別訪問による事業説明を実施し、賛同いただいた飲食店と令和4年度提供に向け協議を継続中。 (令和3年11月12日第一回会議開催、令和3年12月8日第二回会議開催)</p> <p>今後のスケジュール 令和4年3月まで 提供ルール、提供日の決定 令和4年4月以降 メニューの提供、提供後は定期的に意見交換会を開催予定</p>	
(3) 効果項目に対する評価(Check)		
効果目標の達成度評価	当初9月に第一回目の会議を実施し、余裕を持ったスケジュールを計画していたが、緊急事態宣言などの影響により当初のスケジュールからは余裕のない状況となっているが、現在のところ大幅な計画の変更は生じていない。	
反省点	緊急事態宣言などの影響により、着手が当初より遅れたためスケジュールに余裕がない。	
(4) 取組の改善措置(Action)		
取組内容の改善点		
取組の実施に必要なもの		